

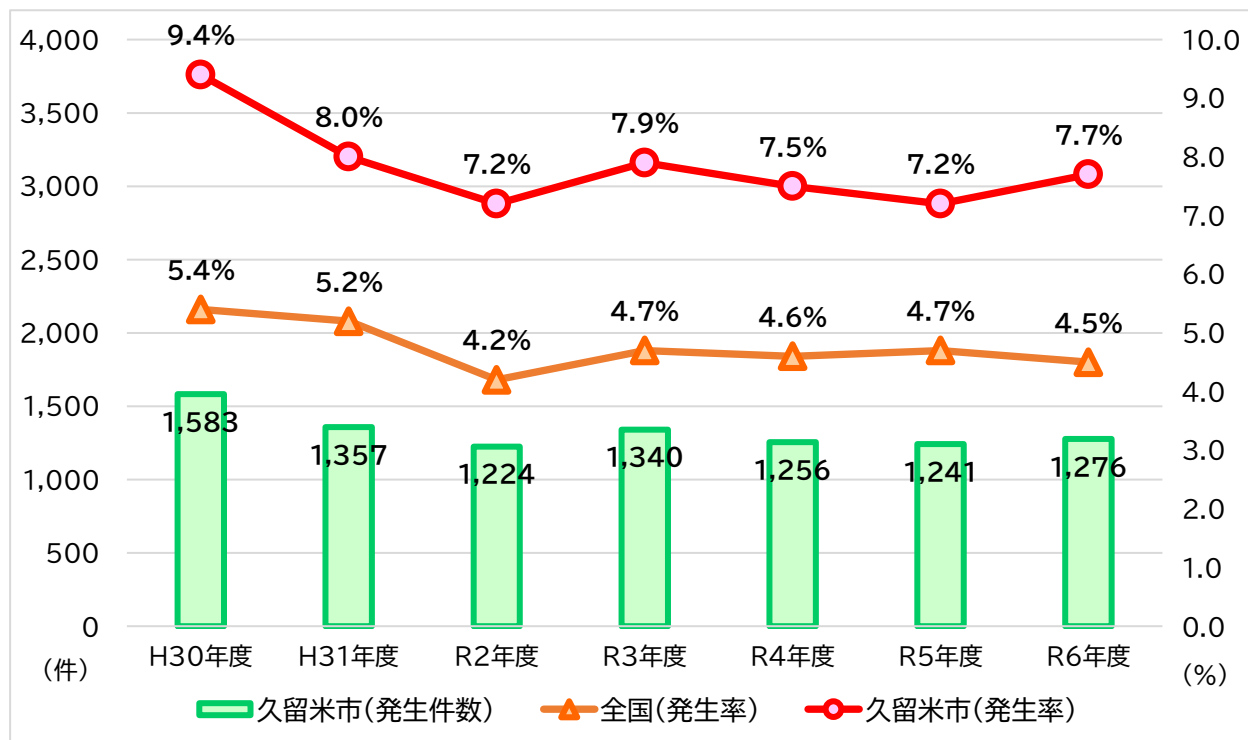
8 児童のけが等に関する状況

重点分野:子どもの安全

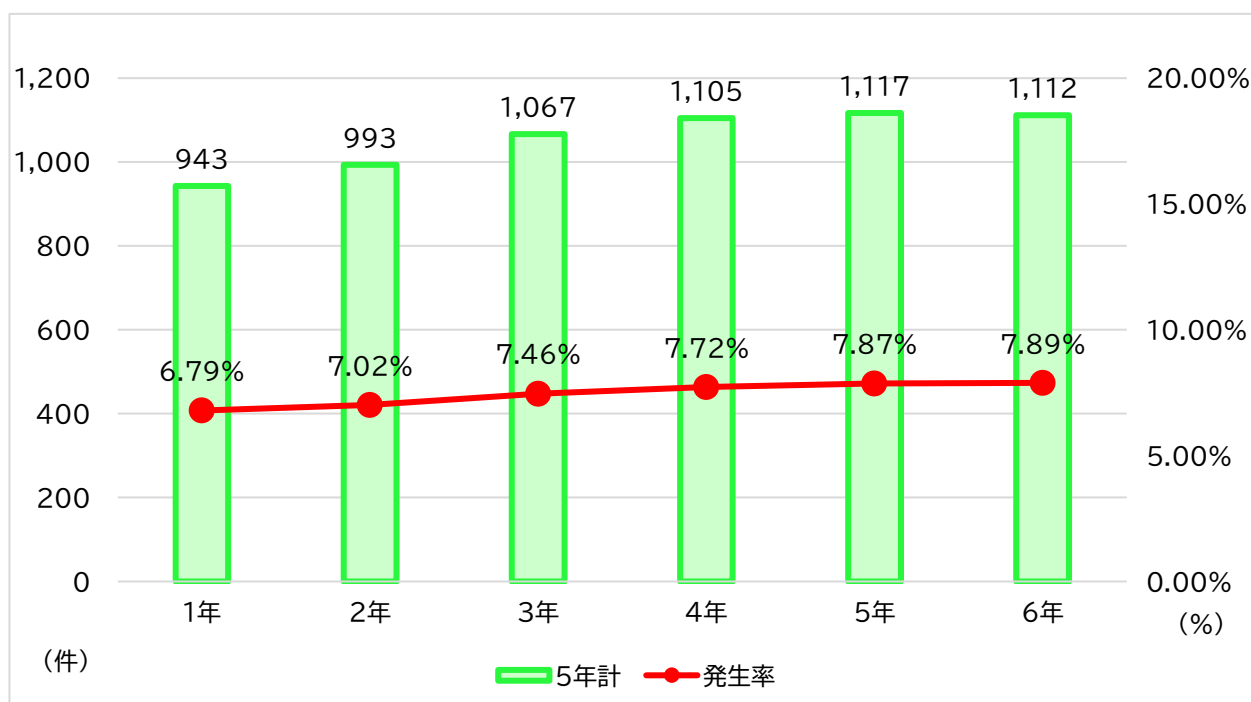
(日本スポーツ振興センター災害給付データ、久留米市教育委員会等統計等)

(1) [図 8-1] 小学校におけるけがの発生件数と発生率 (けがの発生件数/児童数)

市内の小学校での児童のけがの発生率は全国の値を上回っている。

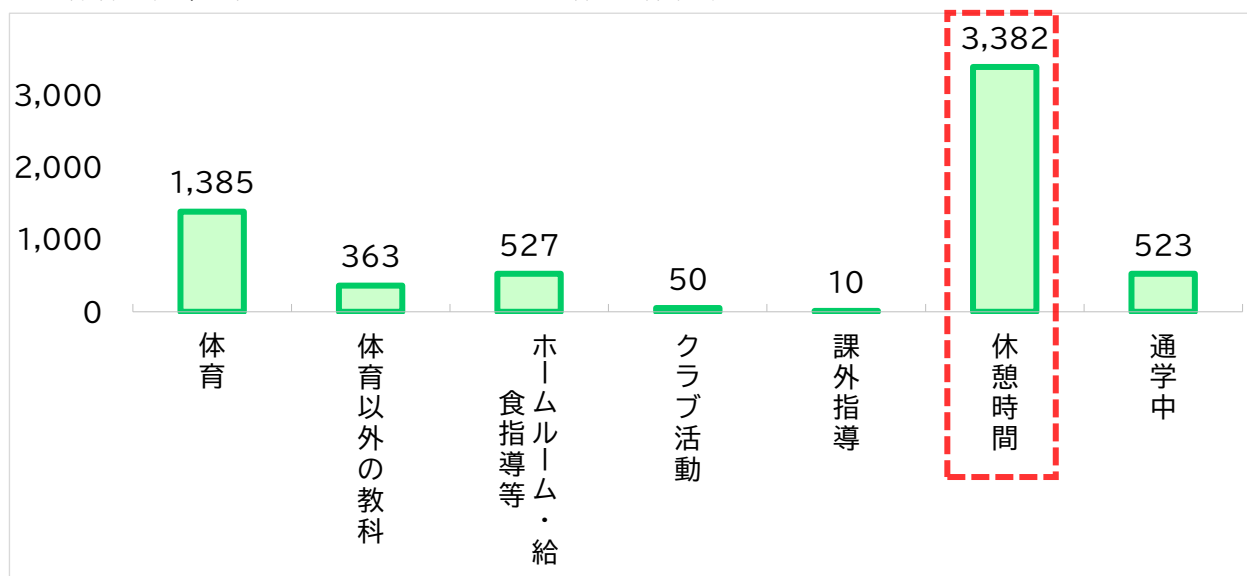


(2) [図 8-2] 小学校における学年別のけがの発生件数と発生率 (R2～R6 累計)



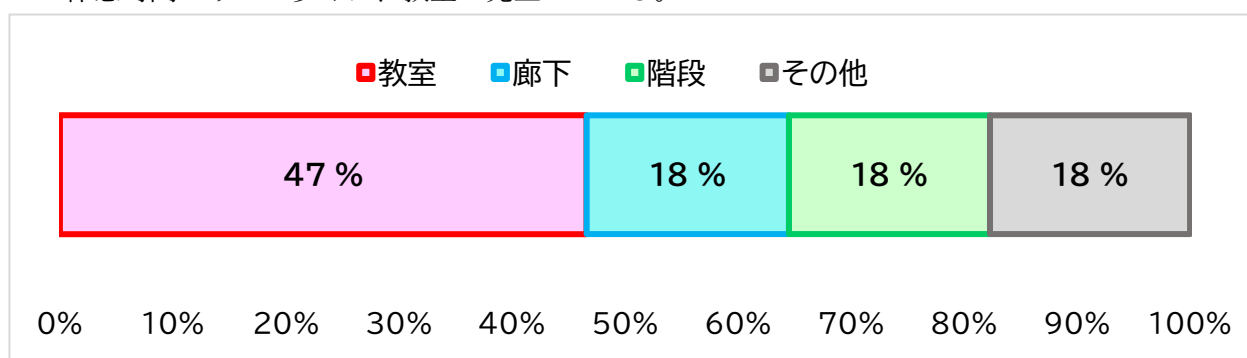
(3) [図 8-3]小学校におけるけが発生時の状況 (R2～R6 年合計)

体育の授業を除くと、けがのほとんどは休憩時間に発生している。

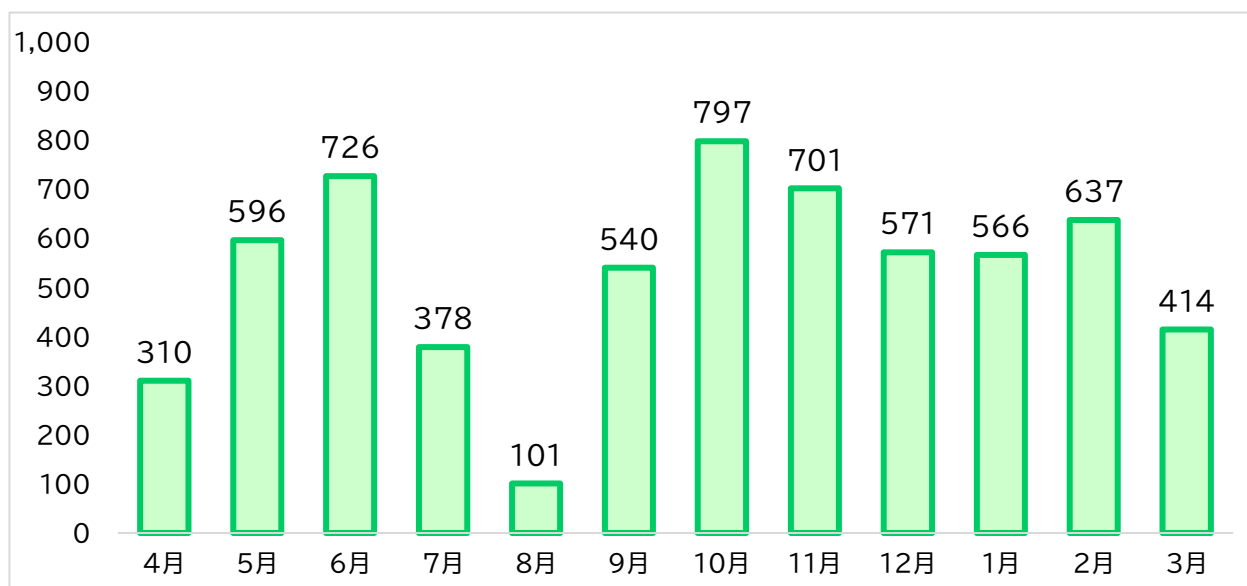


(4) [図 8-4]校舎内における小学校の休憩時間中のけがの発生場所の割合 (R2～R6 合計)

休憩時間のけがの多くは、教室で発生している。



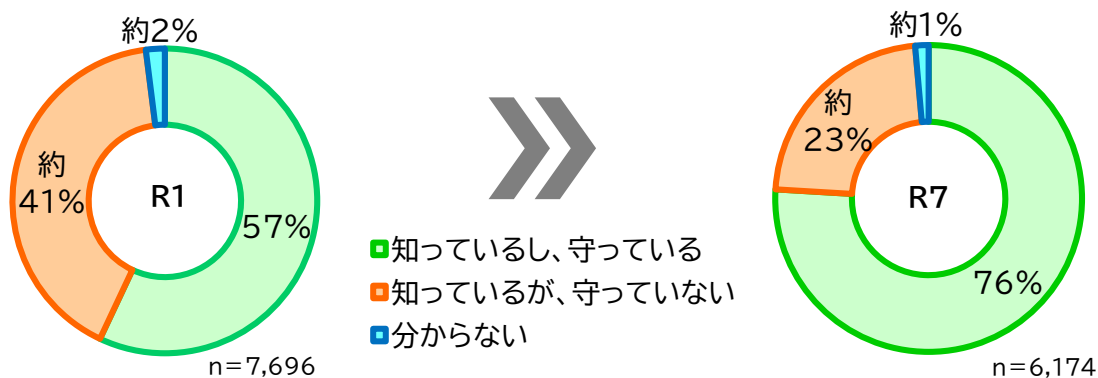
(5) [図 8-5]小学校における月別のけが発生件数 (R2～R6 合計)



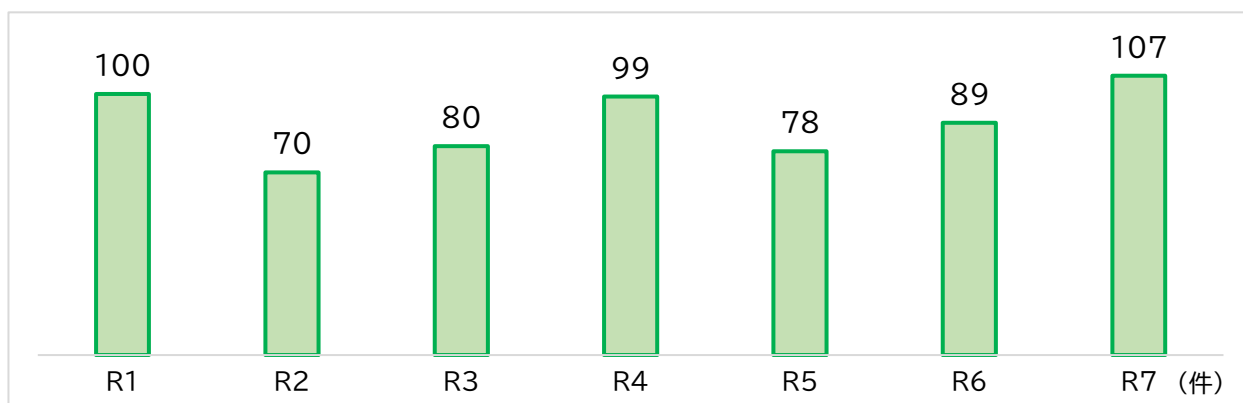
(6) 児童の意識（あんぜんアンケート）

■[図 8-6]校舎内で安全にすごすためのルールを守っているかとの質問への回答

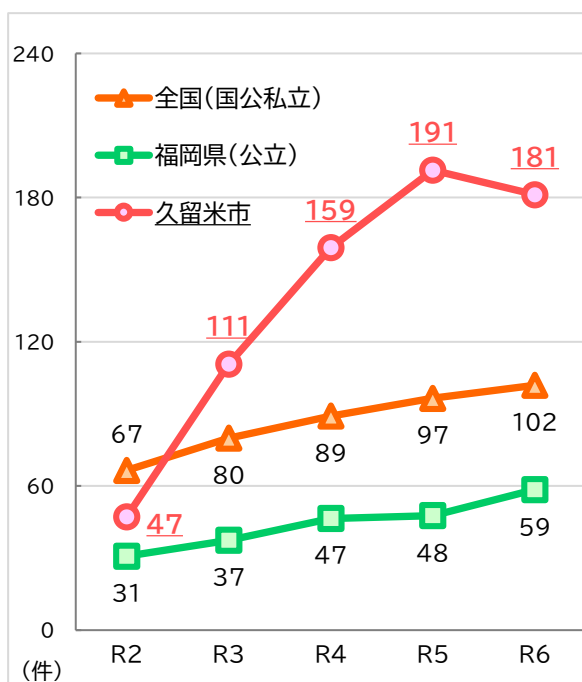
令和元年から令和 7 年にかけて、「知っているし、守っている」と答えた割合は増加している。
しかし、約 5 人に 1 人は「知っているが、守っていない」と答えている。



(7) [図 8-7]不審者情報の報告件数の推移（久留米市学校教育課統計）



(8) [図 8-8]児童 1,000 人あたりの小学校のいじめの認知件数



(9) [図 8-9]久留米市の小学校におけるいじめの認知件数と解消率

